

平成28年度 年間学習指導計画表

検印 校長 ()・教頭 () 沖縄県立久米島高等学校

科目名	野菜	学年	2	教科書名	野菜	出版者	実教出版
担当者名	印	単位数	4	年間授業時数	140 時間		

指導目標： 野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

学期	月	単元名・教材名	指導目標 (留意点)	指導内容	予定 時数	実施 時数	進捗 状況
1	4	・野菜を学ぶ ・野菜の分類 ・学校農業クラブ	・科目「野菜」の評価や計画について理解させる ・野菜の「植物学的分類」と「利用部位別分類」について理解し、外見から分類できる能力を高める ・農業クラブへの理解を深める。	・科目「野菜」の概要 ・植物学的分類 ・利用別部位による分類 ・意見発表の原稿を書く	10		
	5	・夏野菜の栽培 ・野菜の生産と消費 ・野菜の成育と生理 ・野菜の原産地	・果菜類栽培における苗作り、肥培管理の重要性を理解させる。 ・農産物の産出額に占める野菜の位置を理解させる。 ・野菜の成育段階を理解し、成育ステージに応じた基本的な管理技術を理解させる ・おもな野菜の原産地への理解を深める。	・播種・育苗管理 ・定植・肥培管理 ・野菜の年間消費量 ・農産物の産出額 ・輸入野菜の動き ・栄養成長期 ・生殖成長期 ・野菜の原産地	12		
	6	・夏野菜の栽培 ・種子と発芽	・調査データの蓄積の必要性を理解させる。 ・種子の良い条件への理解を深める ・発芽の条件を理解させる。	・調査 ・露地栽培 ・よい種子 ・発芽に必要な条件	16		
	7	・光合成と物質生産 ・夏野菜の栽培	・光合成のしくみと役割を理解させる。 ・野菜の種類毎の光の条件を理解させる。 ・気温、地温の変化と光合成産物の転流を理解させる。 ・収穫時期と販売方法を理解させる。	・光合成 ・光の強さと光合成 ・転流 ・水耕栽培、EC管理 ・収穫・販売	10		
2	9	・ゴーヤーの栽培 ・葉菜類の花芽分化	・ゴーヤーの成育段階に応じた栽培管理技術を理解させる。 ・花芽分化と温度との関係を理解させる。 ・野菜の日長反応別の分類を理解させる。	・露地栽培と水耕栽培の比較調査 ・下葉取り ・感温性 ・光周性	16		
	10	・ゴーヤーの栽培 ・果菜類の花芽分化	・長期収穫時における栽培管理を理解させる。 ・果実の肥大の現象について理解を深める。 ・種子の休眠について理解させる。	・整枝・選定 ・病虫害対策 ・単為結果 ・休眠	16		
	11	・コマツナの栽培 ・栽培環境と調節	・葉菜類の水耕栽培管理を理解させる。 ・野菜の温度適応性への理解を深める。 ・野菜の湿度調節への理解を深める。	・葉菜類の水耕栽培 ・好適な温度環境 ・好適な湿度環境	16		
	12	・栽培環境と調節 ・コマツナの栽培	・湿度と病害の関係への理解を深める。 ・好適な風速への理解を深める。 ・二酸化炭素の人為的操作への理解を深める。 ・土のpHと適する野菜への理解を深める。 ・養液のEC管理を理解させる。	・湿度と病害 ・好適な風速 ・二酸化炭素と成育 ・好適な土 ・葉菜類のEC管理	12		
3	1	・ミズナの栽培 ・トマトの栽培 ・学習のまとめ	・水耕栽培での育苗管理を理解させる。 ・調査を収集・分析する態度を養う。 ・調査データを分析する力を育成する	・播種、定植 ・土作り、マルチ、播種 ・表計算ソフトにて表を作成	12		
	2	・ミズナの栽培 ・学習のまとめ	・栽培環境への理解を深める。 ・収穫時期と出荷への理解をさせる。 ・プロジェクト学習のまとめと発表力を養う。	・病虫害対策 ・収穫・出荷 ・プレゼンソフトでの発表	12		
	3	・学習のまとめ	・プロジェクト学習のまとめの力を養う。 ・記録学習の重要性への理解を深める。	・まとめと反省 ・レポートの提出	8		
合計					140		